

令和元年度の事務事業の評価結果一覧(臨海部国際戦略本部)

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
1	40203020	ナノ医療イノベーション推進事業	その他	ライフイノベーションの推進に向けて、ナノ医療イノベーションセンターの運営を支援し、最先端医療関連産業の創出を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「ナノ医療イノベーションセンターの運営等に関する基本協定」に基づく支援の実施 ●研究費獲得に向けた支援 ●研究を加速化するための研究支援事業の実施 	354,726	354,726	3	P.2
2	40204020	水素戦略推進事業	その他	「水素社会の実現に向けた川崎水素戦略」に基づく「水素供給システムの構築」「多分野にわたる水素利用の拡大」「社会認知度の向上」の3つの基本戦略を推進するとともに、多様な主体と連携したリーディングプロジェクトを創出・推進します。また、川崎水素戦略における第2ステップ(2020～2040)に向けて、各リーディングプロジェクトを要素とした拡大展開モデルを創出するとともに、それらを組み合わせ、市と企業が連携協力して、新たな水素の事業モデル化に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●川崎水素戦略に基づき8つのリーディングプロジェクトを推進 ●川崎水素戦略における第2ステップ(2020～2040年頃)に向けて、各リーディングプロジェクトの成果等を踏まえながら新たな水素の事業モデル化を推進 ●川崎臨海部水素ネットワークのあり方と事業モデル創出に向けて「川崎臨海部水素ネットワーク協議会」を開催し、産官学の連携を協議し、情報共有を実施 	42,788	40,297	3	P.4
3	40401010	国際戦略拠点活性化推進事業	その他	キングスカイフロントにおいて、ライフイノベーションにより国際戦略拠点の形成・成長に向けた取組を推進します。また、高水準な整備や機能導入を推進することで、研究者などの交流や就業環境等の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●キングスカイフロントにおいて、川崎市産業振興財団を中心とする新たなクラスター運営の推進体制を構築 ●産学・産産連携など拠点活動の活性化を通じた地域産業への波及を促進するため、域内外の企業等のマッチングを新たに39件実施(累計58件) ●関係事業者と連携してキングスカイフロントへ企業を誘致 ●良好な景観形成等を図るために電線類地中化を推進 	407,539	379,481	3	P.6
4	40401015	戦略拠点形成推進事業	その他	臨海部の持続的な発展を牽引する次世代の柱となる新産業を創出し、世界に誇れる高度人材が集い、育つ、活力ある戦略拠点の形成に向けた取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●Society5.0等に関連する企業ヒアリングの実施(55回)や臨海部第1層の土地利用動向等を把握するためのヒアリングを実施(27回) ●拠点整備及び土地利用の方向性を整理し、「南渡田地区拠点形成の基本的考え方」を策定 ●臨海部第1層の研究開発エリア形成に向けた方針を策定するための考え方を整理 	23,038	16,674	4	P.8
5	40401020	サポートエリア整備推進事業	その他	臨海部の交通結節機能の強化に向けて、大師橋(産業道路)駅駅前広場の整備に向けた取組を進めます。また、臨海部の活性化や持続的発展を推進するため、塩浜3丁目周辺地区や浮島1期地区の土地利用に向けた取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●大師橋(産業道路)駅駅前交通広場の整備に向けた交通計画協議完了、地区計画変更手続き着手 ●塩浜3丁目周辺地区における新たな機能導入に向けた調査・検討及び基幹的道路整備に向けた道路設計等の実施 ●浮島1期地区の土地利用条件の整理及び他都市事例調査等 	158,934	38,544	4	P.10
6	40401040	臨海部交通ネットワーク形成推進事業	その他	臨海部を支える重要なインフラとして、新たな基幹的交通軸の整備や次世代モビリティなど、新たな移動手段や交通システムの導入を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●東海道貨物支線貨客併用化整備検討協議会の開催(開催回数:1回)及び情報ホームページによる情報配信の実施(閲覧回数:6,108回) ●新たな基幹的交通軸に関し、路線バス機能強化等の調査検討及び川崎アプローチ線に係る関係機関との協議調整を実施 ●東扇島地区における企業送迎バス共同運行の検討実施 	37,329	16,296	3	P.12
7	40401060	臨海部活性化推進事業	参加・協働の場	H30.3に策定した「臨海部ビジョン」の推進や産学公民のネットワーク強化に向けた推進協議会の開催、地域の企業と連携した清掃活動、臨海部の認知度・理解度の向上に向けたPR・ブランディング戦略の取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●緑地創出に関する新たなガイドラインの策定、投資促進に関する新たな制度の検討及び人材育成に関する実証事業を実施 ●クリーン大作戦を殿町夜光線で2回、東扇島地区で1回実施 ●川崎臨海部活性化推進協議会を2回開催 ●ニュースレターを3回発行 ●臨海部企業と連携した理科教室を2回、学校を対象とした企業見学会を7回実施 	25,345	23,339	3	P.14

主な事務事業の評価結果一覧の見方

令和元年度の主な事務事業の評価結果一覧は、各局が所管する事務事業のうち、「政策体系別計画に記載のある事務事業」及び「施策を推進する経常的な事務事業の中でも特に重要なものや進捗に遅れのあるもの」を取りまとめ、個別に進捗状況をお示したものです。

一覧の見方は次のとおりです。

令和元年度の主な事務事業の評価結果一覧(総務企画局)

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
1	10101010	防災対策管理運営事業	その他	国土強靱化地域計画や地域防災計画等、各種の計画を推進し、市の災害対応力の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●「国土強靱化地域計画」及び「地震防災戦略」の進捗確認と次期計画に向けた改定方針の確認 ●「地域防災計画(震災対策編、風水害対策編)」の修正、令和元年東日本台風の検証を踏まえた「地域防災計画(風水害対策編)」の修正に向けた検討 ●「業務継続計画(自然災害対策編)」の素案の作成 ●救助実施市としてのマニュアル整備、連携体制の構築 	1,086,258	1,431,758	3	P●●
2	10101020	地域防災推進事業	イベント等	自主防災組織の育成、民間企業との連携、防災訓練や研修等による、自助・助(互助)・公助の取組・連携の強化や各主体の防災意識の向上により、地域防災力の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●補助金等の活用による自主防災組織への支援の実施 ●避難所運営体制の強化(会議開催: 92.0%、訓練: 156回) ●市内全戸を対象としたタブレット版防災広報誌の作成 ●九都県市合同防災訓練を実施したほか、各区で区総合防災訓練を実施(計11回) ●全局を対象とした市災害対策本部図上訓練、災害対策本部研修等(4回)及び避難所運営要員研修(31回)を実施 	123,098	99,882	3	P●●
3	10101030	防災施設整備事業	施設の管理・運営	防災関連の施設、各種情報通信システム等を整備し、市の災害対応力及び地域防災力の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●同報系防災行政無線屋外受信機の増設(増設数: 5台) ●戸別受信機更新及び施設割込み放送拡充 ●デジタル移動系・多重系防災行政無線の再整備に係る実施設計 ●次期防災情報システムの整備に向けた業務調書の作成 ●狭小倉庫対応に向けた新たな備蓄倉庫の設置(2棟分) 	552,824	488,904	3	P●●
4	10101040	臨海部・津波防災対策事業	その他	コンパクト災害対策や津波対策などを実施し、臨海部の総合的な防災力の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●津波避難施設の拡充(新規で1か所を指定し、合計で104か所) ●臨海部広域防災訓練等の実施(孤立を想定し、関係機関と連携した船舶搬送訓練等) ●津波被害軽減研究の推進(実証実験の実施・避難シミュレーションの作成) ●臨海部防災対策計画の修正(羽田空港の機能強化に伴う新飛行経路の運用への対応等) 	1,115	917	3	P●●
5	10101050	帰宅困難者対策推進事業	その他	一斉帰宅の抑制の周知や帰宅困難者用一時滞在施設の確保等を行い、災害時における混乱を抑制するとともに、二次災害を防止します。	<ul style="list-style-type: none"> ●帰宅困難者一時滞在施設の指定による収容人数の増加(1,000人増) ●主要駅(川崎駅、武蔵小杉駅)における実動訓練の実施 ●帰宅困難者用一時滞在施設(川崎競輪場ほか計4施設)における開設訓練の実施 ●新規施設への備蓄品等の配備 	2,904	4,370	3	P●●
6	10101070	本庁舎等運営事業	その他	本庁舎等について災害対策活動の中核拠点としての耐震性能を確保するため、建替えの取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●再入札に向けた設計・積算・発注条件等の一部見直し・調整 ●旧本庁舎地下解体工事の着工(完成は令和2年4月予定) 	331,557	174,597	4	P●●
7	40205010	地域情報化推進事業	その他	市民生活の更なる利便性の向上等を図るため、市内の公衆無線LAN環境の構築を進めるとともに、地域情報の効果的な発信を図ります。公共データを市民サービスやビジネスにつなげるため、オープンデータの公開を進め、その効果的な活用を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●かわさきWi-Fiの利用範囲の拡張(アクセスポイント数: 目標2,000か所のところ実績1,741か所) ●「かわさきアプリ」のサービス拡充(アプリダウンロード数: 242,826回) ●「イベントアプリ」のサービス提供(民間事業者等登録数: 206団体) ●更なるオープンデータの公開(公開数: 226データセット) ●川崎市LINE公式アカウントの開設 	31,964	27,501	4	P●●
8	40205020	行政情報化推進事業	その他	「情報化推進プラン」に基づく情報化関連施策の進捗管理を進めるとともに、マイナンバー制度の効果的・効率的な運用や、働き方・仕事の進め方改革に基づいたICTの活用を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●情報化推進本部会議における情報化関連計画のスケジュールの確認 ●他の自治体等とのマイナンバーによる情報連携の安定的かつ円滑な運用 ●番号法の一部改正を踏まえた本市番号条例及び同施行規則の改正 ●マイナンバーを用いた電子申請(介護や被災者支援分野の検索に対応) ●モバイル端末やテレビ会議等の利用促進 ●本庁舎建替えに向けた新たなICT環境整備における方向性の検討 	22,094	31,273	3	P●●

①「政策体系別計画に記載のある事務事業」及び「施策を推進する経常的な事務事業の中でも特に重要なものや進捗に遅れのあるもの」を掲載

②市民サービス等の分類を記載
 ※分類区分
 ○施設の管理・運営
 ○補助・助成金
 ○イベント等
 ○表彰・顕彰・認定
 ○参加・協働の場
 ○公聴及び相談・苦情申し立ての聴取等
 ○許認可等
 ○出版物等
 ○その他

③事務事業の概要を記載

④令和元年度に実施した主な取組の実績を定量的な数字を含めて記載

⑤令和元年度の予算額及び決算額(見込)を記載

⑥事務事業の達成度を記載
 ※達成状況区分
 1. 目標を大きく上回って達成
 2. 目標を上回って達成
 3. 目標をほぼ達成
 4. 目標を下回った
 5. 目標を大きく下回った

⑦参考資料における当該事務事業の評価シートの掲載ページを記載